

II 施策評価・進捗管理調書

<様式2>

京丹後市教育振興計画 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

| 担当課 | 担当課長 |
|--------|--------|
| 子ども未来課 | 小西 智恵子 |

| | |
|-------|--|
| 重点目標 | 1 就学前の子どもの教育・保育環境を充実します |
| 基本の方針 | 就学前の子どもの健やかな育ちを確保するため、保育ニーズに応じた保育環境の整備はもとより、保育士や教員の資質向上及び専門性を高めるために研修機会を設けるとともに、幼稚園と保育所の連携を深め、教育・保育を総合的に提供できる環境づくりに取り組みます。また、小学校への円滑な接続を目指し、保幼小の連携を強化します。 地域や家庭で安心して子育てができるよう、地域の実情や保護者のニーズを的確に把握しサービス情報の周知徹底を図るとともに、子育てや就学前教育についての情報交換や気軽に相談する場の確保に努めます。 |

1. 施策の方向性 PLAN

| | |
|---------------|---|
| 1. 就学前教育の環境整備 | ①「京丹後市保育所再編等推進計画」に基づき、旧6町域すべてにおいて、保護者の就労状況等の家庭環境に関わらず、就学前の教育・保育を総合的に提供できる環境整備を進めます。 ②子育て家庭の子育ての不安に寄り添いサポートする体制の強化を図ります。 ③職員自身の自主的な資質向上を促すため、保育所・幼稚園の全職員を対象とした研修の充実を図るとともに、公開保育や職員の交流機会の充実を図ります。 |
| 2. 保幼小の連携強化 | ①保幼小の円滑な接続のためのカリキュラムを開発し、すべての保育所・幼稚園及び小学校で実施します。 |

【参考】施策に関連するその他の計画

| 計画名称 | 計画概要 | 策定年月 | 計画期間 | 備考 |
|-----------------|---|---------|---------------|-------------------------------------|
| 第2次京丹後市総合計画 | 市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」 | 平成27年3月 | 平成27年度～平成36年度 | |
| 京丹後市保育所再編等推進計画 | 将来にわたり子どもたちにとってより良い保育を保障するため、地域の特性に配慮しながら、小規模保育所等の統廃合及び社会福祉法人への運営委託等を具体的に進めるために策定 | 平成23年3月 | 平成23年度～平成27年度 | 第2次京丹後市保育所再編等推進計画を策定(平成29年度～平成33年度) |
| 京丹後市子ども・子育て支援計画 | 市における子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境づくりを一層進めるため策定 | 平成27年3月 | 平成27年度～平成31年度 | |

2. 主な取組と構成事務事業一覧 PLAN DO CHECK ACT

| 1. 就学前教育の環境整備 | | ※各事業の評価・課題について は、別紙決算附属資料参照 | | |
|---|-----------------|--------------------------------|------------|-------------------|
| 主な取り組み | 事務事業名称・事業内容(実績) | 担当課 | 決算額(単位:千円) | 事務の改善 |
| ①「京丹後市保育所再編等推進計画」に基づき、旧6町域すべてにおいて、保護者の就労状況等の家庭環境に関わらず、就学前の教育・保育を総合的に提供できる環境整備を進めます。 | ① 事業実績 | H28決算額 H29決算額 H30予算額 | | 評価を踏まえた 今後の方向性 |
| ②子育て家庭の子育ての不安に寄り添いサポートする体制の強化を図ります。 | | | | |
| ③職員自身の自主的な資質向上を促すため、保育所・幼稚園の全職員を対象とした研修の充実を図るとともに、公開保育や職員の交流機会の充実を図ります。 | | | | |
| 1 保育所管理運営事業 施設の維持管理に努め、円滑な保育所運営を実施する。 | 子ども未来課 | 128,364 145,074 241,558 | | 縮小 |
| 2 保育業務委託事業 保護者の就労等により、保育を必要とする児童の健全な心身の発達を図る。 | 子ども未来課 | 539,692 625,276 540,171 | | 現状維持 |
| 3 保育所保育事業等補助金 私立保育所が事業を円滑に実施するための体制作り等に対して補助金を交付し、特別保育事業を推進する。 | 子ども未来課 | 25,129 29,918 34,386 | | 現状維持 |
| 4 子育て支援センター事業 保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場の提供等の育児支援活動を通して、地域に密着した子育ての環境を整える。 | 子ども未来課 | 12,651 12,257 15,195 | | 拡大 |
| 5 保育支援事業 保護者が疾病等で養育することが一時的に困難になった場合に当該児童を乳児院等に入所させ必要な保護を行う。また、病気等の回復期にあり集団保育や登校が困難な児童を保育施設などで看護する。 | 子ども未来課 | | 3,451 | 現状維持 |
| 子育て短期支援事業 保護者が就労や疾病等の理由により家庭で養育することが一時的に困難となった場合、該当児童を乳児院等で一定期間養育し、児童及びその家庭の福祉の向上を図る。 | 子ども未来課 | 665 684 | | |
| 病後児保育事業 病気の回復期にあり、集団保育が困難な児童を一時的に保育することにより、保護者の子育てと就労の両立等を支援するとともに、児童の福祉の向上を図る。 | 子ども未来課 | 2,407 2,415 | | |

| | | | | | |
|--|---------------|-----------|-----------|--------------|---------------|
| 6 保育所一般経費 | 子ども未来課 | 465,198 | 479,749 | 1と、15の事業にわたる | |
| 保育所入所児童の健康管理、臨時職員の雇用、職員等の研修、児童の送迎バス運行、給食調理業務等により保育所の円滑な運営を図る。 | | | | | |
| 7 園児等健康管理事業 | 子ども未来課 | 344 | 274 | 65 | 終了・廃止 |
| 幼稚園における円滑な教育活動を実施するため、専門医による検診や保健衛生管理を行い、園児の健康保持と増進を図る。 | | | | | |
| 8 幼稚園スクールセンター等設置事業 | 子ども未来課 | 32,616 | 36,545 | 7,448 | 終了・廃止 |
| 幼稚園に介護職員及び預かり保育職員を配置することで、適正かつ円滑な幼稚園運営を行う。 | | | | | |
| 9 幼稚園管理運営事業 | 子ども未来課 | 12,524 | 13,833 | 4,430 | 終了・廃止 |
| 適正な幼稚園運営や教育環境の充実に取り組み、就学時前教育の充実を図る。 | | | | | |
| 10 幼稚園施設管理事業 | 子ども未来課 | 1,385 | 30,819 | 130 | 終了・廃止 |
| 幼稚園施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。 | | | | | |
| 11 教育利用管理運営事業 | 子ども未来課 | | | 45,244 | 現状維持 |
| 認定こども園(1号認定児)の運営が円滑に行えるよう、児童の健康管理や臨時職員の雇用を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。 | | | | | |
| 12 保育利用管理運営事業 | 子ども未来課 | | | 548,712 | 現状維持 |
| 認定こども園(2号・3号認定児)の運営が円滑に行えるよう、職員研修・児童の健康管理や臨時職員の雇用を行うほか、給食調理業務、児童送迎業務を実施する。また、私立認定こども園に対し施設給付を行うとともに、市外の認定こども園を利用した際の施設給付を行う。 | | | | | |
| 2. 保幼小の連携強化 | | | | | |
| 主な取り組み | | | | | |
| ① 事務事業名称・事業内容(実績) | 担当課 | H28決算額 | H29決算額 | H30予算額 | 評価を踏まえた今後の方向性 |
| ① 保幼小の円滑な接続のためのカリキュラムを開発し、すべての保育所、幼稚園及び小学校で実施します。 | | | | | |
| 13 小中一貫教育推進事業《再掲》 | 学校教育課 | - | - | - | 現状維持 |
| 「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。 | | | | | |
| 上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業 | | | | | |
| 事務事業名称・事業内容(実績) | 担当課 | H28決算額 | H29決算額 | H30予算額 | 評価を踏まえた今後の方向性 |
| 14 保育所整備事業 | 子ども未来課 | | | 91,971 | 休止 |
| 平成31年度開設予定の網野こども園への意向をスムーズに行うため、網野みなみ保育所の環境整備工事を実施する。また、統廃合により空き施設となっている老朽化した旧保育所施設について2施設を解体する。 | | | | | |
| 15 保育所施設管理事業 | 子ども未来課 | - | - | 4,298 | 現状維持 |
| 適切な維持管理のもと、施設を利用する児童、職員が安全に過ごすことができるよう必要な点検・整備を実施する。 | | | | | |
| 16 認定こども園施設管理事業 | 子ども未来課 | | | 4,241 | 現状維持 |
| 適切な維持管理のもと、施設を利用する児童、職員が安全に過ごすことができるよう必要な点検・整備を実施する。 | | | | | |
| 17 ファミリーサポートセンター事業 | 子ども未来課 | 76 | 65 | 68 | 現状維持 |
| 子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月～小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育て支援を図る。 | | | | | |
| 18 子ども未来まちづくり審議会事業 | 子ども未来課 | 194 | 66 | 184 | 現状維持 |
| すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画、保育所再編等推進計画等、特定教育・保育施設の利用定員の設定を審議する。 | | | | | |
| 計 | | 1,221,245 | 1,376,975 | 1,538,101 | |

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

| | | | | | |
|-----------------|--|-----|-------------|---------------|-----------|
| 基本の方針 主な目標指標 | 就学前の子どもの健やかな育ちを確保するため、保育ニーズに応じた保育環境の整備はもとより、保育士や教員の資質向上及び専門性を高めるために研修機会を設けるとともに、幼稚園と保育所の連携を深め、教育・保育を総合的に提供できる環境づくりに取り組みます。また、小学校への円滑な接続を目指し、保幼小の連携を強化します。 地域や家庭で安心して子育てができるよう、地域の実情や保護者のニーズを的確に把握しサービス情報の周知徹底を図るとともに、子育てや就学前教育についての情報交換や気軽に相談する場の確保に努めます。 | | | | |
| | 目標指標 | 単位 | 計画作成時 年度 | 実績値(現状) 年度 | 目標値 年度 |
| | 幼稚園の数 | 園 | 4 H25 | 6 H29 | 6 H36 |
| | 病後児保育の実施事業所数 | 事業所 | 0 H25 | 1 H29 | 1 H36 |
| | 子育て支援センター数 | か所 | 7 H25 | 8 H29 | 8 H36 |
| | 一時預かり実施事業所数 | 事業所 | 6 H25 | 10 H29 | 9 H36 |
| | 保育所・幼稚園職員の全体研修数 | 回 | 3 H25 | 2 H29 | 5 H36 |

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本の方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK ACT

| 進捗状況区分 | 評価 | 29年度成果と今後の課題 | |
|--|--|--------------|-------|
| | | 29年度成果 | 今後の課題 |
| <input checked="" type="radio"/> 予定以上に進んでいる <input type="radio"/> 予定どおり進んでいる <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている <input checked="" type="radio"/> 大幅に遅れている | <p>○ 幼稚園の数</p> <p>第2次京丹後市保育所再編等推進計画を策定し、平成33年度までの5ヶ年を期間として、①保育所の再編、②民営化の検討、③認定こども園への移行などを定めている。5つのこども園を認定こども園に移行し、31年度には網野幼稚園を認定こども園に移行する。</p> <p>○ 病後児保育の実施事業所数</p> <p>平成27年度の開設から3年目を迎えて、徐々に利用が増加した。課題としては、特に子育て世代に、この制度の存在を伝える広報活動の推進がある。</p> <p>○ 子育て支援センター数</p> <p>市内8か所で開設しており、保健師、助産師など専門職が子育て相談に対応するとともに、子育て世代間の友達づくり、情報共有など居場所を提供することができた。課題は、スペースの関係で児童の年齢に応じたクラス編成により、利用の曜日を決めるという調整をせざるを得ない点がある。</p> <p>○ 一時預かり実施事業所数</p> <p>平成28年度から、大宮北保育所とこうりゅう保育所を公設民営に移行させたことに伴い、両施設とも一時預かりを開始して、サービスの向上を図ることができた。</p> <p>○ 保育所・幼稚園職員の全体研修数</p> <p>年3回の研修を計画していたが、冬期における研修で大雪警報等が発令される荒天のため、開催を中止した。職員の資質向上は、教育・保育を提供する上で課題でもあるため、これ以外にも機会を捉えて研修を実施していく必要がある。</p> | | |

5. 今後の施策展開の考え方(平成30~32年度までの主な取組)

ACT

| 区分 | No. | 具体的な内容 |
|----------|-----|--|
| 施策展開の考え方 | 1 | 保育所の利用において、0~2歳の低年齢児の利用が増える傾向にあり、このニーズに応える保育所の運営を続けるとともに、平成27年3月に策定した京丹後市子ども・子育て支援事業計画と整合性を図りつつ、今後も子育て支援の施策の充実を図る。なお、旧6町域すべてに設置していた幼稚園は、平成30年度に5施設、平成31年度に1施設を「認定こども園」に移行運営する。 |
| | 2 | 「京丹後市小中一貫教育保幼小接続モデルプラン」を参考に、各学園で保幼小の情報共有や教職員の交流と相互理解を深めるなど、小学校教育への円滑な接続を図るための取組みの充実を図る。 |

| 予算科目 | 03民生費 | 02児童福祉費 | 03保育所費 | 02保育所管理運営事業 | | | |
|---|---|-------------------------------------|-----------|-------------|-----------|----------------|----------------------|
| 細事業名 | 01保育所管理運営事業 | | | | 決算書 | P.96 | |
| 総合計画 | 計画項目 | 25子育て支援の総合的な推進 | | | 計画項目 | 25子育て支援の総合的な推進 | |
| 決算額 | ①最終予算額 | ②不用车額 | (②-①)執行率 | (参考)当初予算額 | ①最終予算額 | ②不用车額 | (参考)当初予算額 |
| 145,074千円 | 145,431千円 | 357千円 | 99.7% | 151,373千円 | 625,276千円 | 625,309千円 | 33千円 99.9% 605,936千円 |
| 目的 | 施設の維持管理に努め、円滑な保育所運営を実施する。 | 保護者の就労等により、保育を必要とする児童の健全な心身の発達を図る。 | | | | | |
| 主要な事務・事業の概要 | 民間認可保育所の「ゆうかり乳児保育所」「こよりゆう虹保育園」「あみの夢保育園」に2歳児から5歳児までの保育を委託し、また、市立保育所のうち「大宮北保育所」の運営を社会福祉法人に委託するなどにより、産休明け・育休明けの保育所利用、保育時間の延長や休日保育等、保護者の保育ニーズに対応した。 | ●保護者の就労等により、保育を必要とする児童の健全な心身の発達を図る。 | | | | | |
| ○公立保育所運営委託料 | 205,906千円 | | | | | | |
| ・大宮北保育所 | | | | | | | |
| 定員230人 | 平成30年3月末入所児童数：216人 | | | | | | |
| ○保育所運営委託料 | 225,266千円 | | | | | | |
| ・あみの夢保育園 | 108,033千円 | | | | | | |
| 定員90人 | 平成30年3月末入所児童数：105人 | | | | | | |
| ・こうりゅう虹保育園 | 117,233千円 | | | | | | |
| 定員120人 | 平成30年3月末入所児童数：134人 | | | | | | |
| ○認定こども園施設賃貸料 | 126,628千円 | | | | | | |
| ・ゆうかり子ども園 | | | | | | | |
| 定員150人 | 平成30年3月末入所児童数：182人 | | | | | | |
| ○保育所の運営に関する経費 | (89,886千円) | | | | | | |
| ・保育材料費ほか消耗品費 | 13,146千円 | ・給食賄材料費 | 71,923千円 | | | | |
| ・施設設備品、保育備品 | 4,654千円 | ・コピー機等借上料 | 163千円 | | | | |
| ○施設の維持管理に関する経費 | (55,188千円) | | | | | | |
| ・燃料費、光熱水費 | 33,621千円 | ・通信運搬費 | 982千円 | | | | |
| ・施設・備品等一般修繕 | 4,621千円 | ・清掃用具借上料 | 307千円 | | | | |
| ・手数料 | 410千円 | ・浄化槽維持管理 | 1,427千円 | | | | |
| ・施設警備委託料 | 609千円 | ・その他委託料 | 3,140千円 | | | | |
| ・工事請負費 | | | 10,071千円 | | | | |
| ○網野みなみ保育所(ワツ)更新工事等 | 8,109千円 | | | | | | |
| ・網野こども園電話装置交換工事 | 820千円 | | | | | | |
| ・大宮こども園更新工事 | 1,142千円 | | | | | | |
| ○久美浜保育所(ワツ)更新工事 | 27,880千円 | | | | | | |
| ・負担金 | 多子世帯保育料減免市町村交付金(1/2) | 4,785千円 | 72,575千円 | | | | |
| ・借入 | 保育所広域受託保育料 | 4,658千円 | 159,782千円 | | | | |
| ・諸収入 | 保育所職員給食費、幼稚園給食費、延長保育費負担金 | 23,593千円 | 82,578千円 | | | | |
| ・市費 | 児童福祉施設整備事業費(過疎対策費) | 8,800千円 | 1,059千円 | | | | |
| ○入所児童に対し適切な教育・保育を提供するための環境整備や安心安全な給食提供を行なうことができる。 | | | | | | | |
| ○老朽化等に伴う施設や設備において大規模な改修等が必要となるものがあり、計画的に改修を行う必要がある。 | | | | | | | |
| 成果・課題 | 保育を実施し、保護者の子育てと仕事の両立支援につなげることができた。 | | | | | | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／子ども未来課 | | | | | | |

| 予算科目 | 03民生費 | 02児童福祉費 | 03保育所費 | 02保育所管理運営事業 | | | |
|---|---|-------------------------------------|-----------|-------------|-----------|----------------|----------------------|
| 細事業名 | 01保育所管理運営事業 | | | | 決算書 | P.96 | |
| 総合計画 | 計画項目 | 25子育て支援の総合的な推進 | | | 計画項目 | 25子育て支援の総合的な推進 | |
| 決算額 | ①最終予算額 | ②不用车額 | (②-①)執行率 | (参考)当初予算額 | ①最終予算額 | ②不用车額 | (参考)当初予算額 |
| 145,074千円 | 145,431千円 | 357千円 | 99.7% | 151,373千円 | 625,276千円 | 625,309千円 | 33千円 99.9% 605,936千円 |
| 目的 | 施設の維持管理に努め、円滑な保育所運営を実施する。 | 保護者の就労等により、保育を必要とする児童の健全な心身の発達を図る。 | | | | | |
| 主要な事務・事業の概要 | 民間認可保育所の「ゆうかり乳児保育所」「こよりゆう虹保育園」「あみの夢保育園」に2歳児から5歳児までの保育を委託し、また、市立保育所のうち「大宮北保育所」の運営を社会福祉法人に委託するなどにより、産休明け・育休明けの保育所利用、保育時間の延長や休日保育等、保護者の保育ニーズに対応した。 | ●保護者の就労等により、保育を必要とする児童の健全な心身の発達を図る。 | | | | | |
| ○保育所の運営に関する経費 | (89,886千円) | | | | | | |
| ・保育材料費ほか消耗品費 | 13,146千円 | ・給食賄材料費 | 71,923千円 | | | | |
| ・施設設備品、保育備品 | 4,654千円 | ・コピー機等借上料 | 163千円 | | | | |
| ○施設の維持管理に関する経費 | (55,188千円) | | | | | | |
| ・燃料費、光熱水費 | 33,621千円 | ・通信運搬費 | 982千円 | | | | |
| ・施設・備品等一般修繕 | 4,621千円 | ・清掃用具借上料 | 307千円 | | | | |
| ・手数料 | 410千円 | ・浄化槽維持管理 | 1,427千円 | | | | |
| ・施設警備委託料 | 609千円 | ・その他委託料 | 3,140千円 | | | | |
| ・工事請負費 | | | 10,071千円 | | | | |
| ○網野みなみ保育所(ワツ)更新工事等 | 8,109千円 | | | | | | |
| ・網野こども園電話装置交換工事 | 820千円 | | | | | | |
| ・大宮こども園更新工事 | 1,142千円 | | | | | | |
| ○久美浜保育所(ワツ)更新工事 | 27,880千円 | | | | | | |
| ・負担金 | 多子世帯保育料減免市町村交付金(1/2) | 4,785千円 | 72,575千円 | | | | |
| ・借入 | 保育所広域受託保育料 | 4,658千円 | 159,782千円 | | | | |
| ・諸収入 | 保育所職員給食費、幼稚園給食費、延長保育費負担金 | 23,593千円 | 82,578千円 | | | | |
| ・市費 | 児童福祉施設整備事業費(過疎対策費) | 8,800千円 | 1,059千円 | | | | |
| ○入所児童に対し適切な教育・保育を提供するための環境整備や安心安全な給食提供を行なうことができる。 | | | | | | | |
| ○老朽化等に伴う施設や設備において大規模な改修等が必要となるものがあり、計画的に改修を行う必要がある。 | | | | | | | |
| 成果・課題 | 保育を実施し、保護者の子育てと仕事の両立支援につなげることができた。 | | | | | | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／子ども未来課 | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------------|---|-----------------|---------|---------------|------------|
| 予算科目 | 03民生費 | 02児童福祉費 | 03保育所費 | 04子育て支援センター事業 | |
| 細事業名 | 01 子育て支援センター事業 | | | | |
| 総合計画 | 計画項目 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | 決算書 | P.96 |
| 決算額 | ① 最終予算額 | ② 不用額 | (②)-(①) | 執行率 | (参考) 当初予算額 |
| 12,257千円 | 12,670千円 | 413千円 | 94.7% | 96.7% | 15,227千円 |
| 目的 | 保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場の提供等の育児支援活動を通じて、地域に密着した子育ての環境を整える。 | | | | |
| 主要な事務・事業の概要 | 幼稚園入園前・保育所入所前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育儿相談・交流の場及び子ども同士のふれあいの場として、8か所の支援センターを設置することで、地域に密着した子育て支援を推進した。 また、11月6日に開催した子育て講演会「うたあそび・リズムあそび」は、保護者96人、子ども103人、計199人の参加があった。 | | | | |
| ○支援センター利用数 | ○親子フレッシュ体操教室 | | | | |
| 地域子育て支援センター | 延べ利用人数 | | | | |
| 峰山 | 児童 | 保護者 | | | |
| | 2,014人 | 1,767人 | | | |
| 大宮北 | 児童 | 保護者 | | | |
| | 2,093人 | 1,773人 | | | |
| 大宮南 | 児童 | 保護者 | | | |
| | 1,044人 | 1,015人 | | | |
| 鶴野 | 児童 | 保護者 | | | |
| | 1,743人 | 1,564人 | | | |
| 丹後 | 児童 | 保護者 | | | |
| | 1,196人 | 1,103人 | | | |
| 弥栄 | 児童 | 保護者 | | | |
| | 1,050人 | 953人 | | | |
| かぶと山 | 児童 | 保護者 | | | |
| | 1,680人 | 1,302人 | | | |
| こうりゅう | 児童 | 保護者 | | | |
| | 1,438人 | 1,321人 | | | |
| 合計 | 12,258人 | 10,798人 | | | |
| ○臨時職員賃金及び共済費 | | | | | |
| ○子育て講座・親子体操教室講師謝礼 | | | | | |
| ○旅費 | | | | | |
| ○通信運搬費・手数料 | | | | | |
| ○その他経費(消耗品費等) | | | | | |
| ○支援センター運営委託料(こうりゅう虹保育所) | | | | | |
| ○支援センター運営委託料(うたあそび) | | | | | |
| ○支援センター運営委託料(うたあそび) | | | | | |
| 主な財源 | 国庫補助 | 子育て支援交付金(1/3) | 毎月1回 | 3,270千円 | 3,270千円 |
| 成果・課題 | 保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進を図ることができた。 | | | | |

| 予算科目 | 03民生費 | 02児童福祉費 | 03保育所費 | 03保育所委託事業 |
|-------------|---|--|-----------|-----------|
| 細事業名 | 02保育所保育事業等補助金 | | | |
| 総合計画 | 計画項目 | 25子育て支援の総合的な推進 | | |
| 決算額 | ①最終予算額 | ②不用地額 | ③(②-①)執行率 | (参考)当初予算額 |
| 29,918千円 | 30,047千円 | 129千円 | 99.5% | 35,136千円 |
| 目的 | 私立保育所が事業を円滑に実施するための体制作り等に対して補助金を交付し、特別保育事業を推進する。 | | | |
| 主要な事務・事業の概要 | ○ゆうかり乳児保育所 ・延長保育事業（人件費、光熱水費、おやつ代他） ・民間社会福祉施設サービス向上事業（駐車場照明器具取替他） ○ゆうかり子ども園 ・延長保育事業（人件費、光熱水費、おやつ代他） ・民間社会福祉施設サービス向上事業（食器洗浄機購入等） ・一時預かり事業（配置保育士の人件費） ・障害児保育事業（加配職員の人件費） ・防犯対策強化整備事業（玄関扉自動錠、インターホン設置他） ○あみの夢保育園 ・延長保育事業（人件費、光熱水費、おやつ代他） ・民間社会福祉施設サービス向上事業（幼児用エアコン購入等） ・一時預かり事業（配置保育士の人件費） ・障害児保育事業（加配職員の人件費） ・通所バス運行事業 ○こうりゆう虹保育園 ・延長保育事業（人件費、光熱水費、おやつ代他） ・民間社会福祉施設サービス向上事業（巧技台購入等） ・一時預かり事業（配置保育士の人件費） ・障害児保育事業（加配職員の人件費） ・通所バス運行事業 ■主な財源 国補 府補 市補 主な財源 ・課題 成果 | 810千円 300千円 510千円 15,197千円 2,636千円 2,346千円 552千円 9,118千円 545千円 4,164千円 1,176千円 1,530千円 258千円 1,200千円 9,747千円 1,342千円 2,040千円 224千円 3,873千円 2,268千円 2,920千円 3,633千円 2,321千円 2,958千円 ○延長保育や一時預かりなどを推進し、子育て支援と仕事の両立支援を図った。 ○施設設備や保育備品購入及び配職員の配置への支援を行い、保育の質を確保した。 ○多様な保育ニーズに対応した。 | 決算書 | P.96 |

| | | | | | | | | | | |
|-------------|--|--|---------|-------------|-----------------------|--|---|--|----------------|--|
| 予算科目 | 03民生費 | 02児童福祉費 | 03保育所費 | 05子育て短期支援事業 | | | | | 08病後児保育事業 | |
| 細事業名 | 01 子育て短期支援事業 | | | | 決算書 | P.96 | | | | |
| 総合計画 | 計画項目 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | | | | | | | |
| 決算計画 | 計画項目 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | | | | | | | |
| 総合 | 決 算 額 | ① 最 終 予 算 額 | ② 不 用 額 | (②-①) 執 行 率 | (参考) 当初予算額 | (参考) 当初予算額 | | | | |
| | 684千円 | 709千円 | 25千円 | 96.4 % | 1,052千円 | | | | | |
| 目的 | 保育者が就労や疾患等の理由により家庭で養育するが一時的に困難となる場合、該当児童を乳児院等で一定期間養育し、児童及びその家庭の福祉の向上を図る。 | | | | | | | | | |
| 主要な事務・事業の概要 | ○家庭において、保護者が妊娠その他他の理由において児童を養育することが一時的に困難となるたった児童（小学校第4学年までの者）に対し、乳児院等で保護者に代わって養育する事業を社会福祉法人みなやま福祉会に委託した。 (延べ利用児童数134人) | | | | | | | | | |
| | ○子育て短期支援事業 子育て短期支援事業委託料 | | | | | | | | | |
| | (延べ利用児童数等) | | | | | | | | | |
| | ○ 0歳児 生活保護世帯（1人） 母子父子・非課税世帯（7人） その他の世帯（24人） | | | | 21千円 67千円 129千円 | | | | | |
| | 2歳児以上 | | | | 374千円 5千円 88千円 | | | | | |
| 主な財源 | 国補 府補 | 子ども・子育て支援交付金（1/3） 子ども・子育て支援交付金（1/3） | | | 227千円 227千円 | 子ども・子育て支援交付金（1/3） 子ども・子育て支援交付金（1/3） | | | 804千円 804千円 | |
| 成果・課題 | ○保護者の冠婚葬祭・就労・就学・傷病・学校行事への参加による一時的な利用があり、養育を必要とする児童及びその家庭の福利向上につなげることができます。 ○事業の円滑化利用のために、委託先の社会福祉法人みなやま福祉会と家庭ごとも相談室の運営が必要である。 | | | | | | ○平成27年11月に事業開始し、保護者の子育てと仕事の両立の実現や巡回支援等を実施する体制を整えた。 ○利用のない日に看護師が地域の保育所等へ情報提供や巡回支援等を実施するなど制度を周知し、利用の拡大を図ることが課題である。 | | | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／子ども未来課 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-------------|--|--|---------|-------------|-----------------------|--|---|--|----------------|--|
| 予算科目 | 03民生費 | 02児童福祉費 | 03保育所費 | 05子育て短期支援事業 | | | | | | |
| 細事業名 | 01 子育て短期支援事業 | | | | 決算書 | P.96 | | | | |
| 総合計画 | 計画項目 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | | | | | | | |
| 決算計画 | 計画項目 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | | | | | | | |
| 総合 | 決 算 額 | ① 最 終 予 算 額 | ② 不 用 額 | (②-①) 執 行 率 | (参考) 当初予算額 | (参考) 当初予算額 | | | | |
| | 684千円 | 709千円 | 25千円 | 96.4 % | 1,052千円 | | | | | |
| 目的 | 保育者が就労や疾患等の理由により家庭で養育するが一時的に困難となるたった児童（小学校第4学年までの者）に対し、乳児院等で保護者に代わって養育する事業を社会福祉法人みなやま福祉会に委託した。 (延べ利用児童数134人) | | | | | | | | | |
| 主要な事務・事業の概要 | ○家庭において、保護者が妊娠その他他の理由において児童を養育することが一時的に困難となるたった児童（小学校第4学年までの者）に対し、乳児院等で保護者に代わって養育する事業を社会福祉法人みなやま福祉会に委託した。 (延べ利用児童数134人) | | | | | | | | | |
| | ○子育て短期支援事業 子育て短期支援事業委託料 | | | | | | | | | |
| | (延べ利用児童数等) | | | | | | | | | |
| | ○ 0歳児 生活保護世帯（1人） 母子父子・非課税世帯（7人） その他の世帯（24人） | | | | 21千円 67千円 129千円 | | | | | |
| | 2歳児以上 | | | | 374千円 5千円 88千円 | | | | | |
| 主な財源 | 国補 府補 | 子ども・子育て支援交付金（1/3） 子ども・子育て支援交付金（1/3） | | | 227千円 227千円 | 子ども・子育て支援交付金（1/3） 子ども・子育て支援交付金（1/3） | | | 804千円 804千円 | |
| 成果・課題 | ○保護者の冠婚葬祭・就労・就学・傷病・学校行事への参加による一時的な利用があり、養育を必要とする児童及びその家庭の福利向上につなげることができます。 ○事業の円滑化利用のために、委託先の社会福祉法人みなやま福祉会と家庭ごとも相談室の運営が必要である。 | | | | | | ○平成27年11月に事業開始し、保護者の子育てと仕事の両立の実現や巡回支援等を実施する体制を整えた。 ○利用のない日に看護師が地域の保育所等へ情報提供や巡回支援等を実施するなど制度を周知し、利用の拡大を図ることが課題である。 | | | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／子ども未来課 | | | | | | | | | |

| 予算科目 | 03民生費 | 02児童福祉費 | 03保育所費 | 50保育所一般経費 | | | |
|--|---|-----------------|--------|-----------|------------|-----|------|
| 細事業名 | 01 保育所一般経費 | | | | | | |
| 総合計画 | 計画項目 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | | | | |
| 決算額 | ① 最終予算額 | ② 不用額 | (②-①) | 執行率 | (参考) 当初予算額 | 決算書 | P.98 |
| 479,749千円 | 481,029千円 | 1,280千円 | 99.7% | 538,697千円 | | | |
| 目的 | 保育所入所児童の健康管理、臨時職員の雇用、職員等の研修、児童の送迎/バス運行、給食調理業務等による保育所の円滑な運営を図る。 | | | | | | |
| 主要な事業の概要 | 保育環境を整え運営が円滑に行われるよう、臨時保育士の雇用や児童の健康管理経費、給食調理業務、広域入所委託費、職員の賃金向上のための研修経費を支出した。 | | | | | | |
| ○保育所運営に関する経費 | 461,729千円 | | | | | | |
| ・臨時職員（保育士、調理員、作業員）賃金及び共済費 | 364,490千円 | | | | | | |
| ・健診実施手数料（非常勤職員）、大腸菌検査手数料 | 554千円 | | | | | | |
| ・給食調理業務委託料（6保育所） | 41,233千円 | | | | | | |
| ・児童送迎運行、遠足等バス賃上費用等 | 32,049千円 | | | | | | |
| ・保育所用地借上料及ひ建物火災保険料 | 1,326千円 | | | | | | |
| ・広域入所委託料（他市町村への入所委託費）※実績 3人 | 3,134千円 | | | | | | |
| ・備品購入費（保育所送迎車両、ドライバーコーダー19台） | 4,594千円 | | | | | | |
| ・各種負担金（日本スポーツ振興センター・府保育協会負担金ほか | 600千円 | | | | | | |
| ・その他（消耗品費、燃料費、車検費用、重量税、賠償金ほか） | 13,749千円 | | | | | | |
| ○児童の健康管理に関する経費 | 6,008千円 | | | | | | |
| ・嘱託医報酬（内科8人、歯科10人）、費用弁償等 | 5,453千円 | | | | | | |
| ・園児検診委託料（耳鼻科・眼科・尿検査）、自動車借上料 | 556千円 | | | | | | |
| ○職員の研修に関する経費 | 453千円 | | | | | | |
| ・講師謝礼、研修等参加旅費、負担金等 | 453千円 | | | | | | |
| ○償還利子及び割引料 | 11,559千円 | | | | | | |
| ・過年度国庫支出金返還金 | 7,632千円 | | | | | | |
| ・過年度返支出金返還金 | 3,927千円 | | | | | | |
| 主要な事業の概要 | | | | | | | |
| ○各種検診・検査 | 140千円 | | | | | | |
| ・尿検査委託料 | 166人 | | | | | | |
| ・眼科検診委託料 | 165人 | | | | | | |
| ・耳鼻科検診委託料 | 167人 | | | | | | |
| ○保健衛生消耗品・幼児健診診断票印刷代、医薬材料費 | 69千円 | | | | | | |
| ○自動車借上料（眼科検診） | 5千円 | | | | | | |
| ○学校保健安全法をはじめとする関係法令に基づき、各種検診・検査を適正に実施し、園児の健康管理及び健康づくりに努めた。 | | | | | | | |
| ○今後も園児の健診を実施し、疾病の早期発見と予防に努める必要がある。 | | | | | | | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／子ども未来課 | | | | | | |

| | | | | | | |
|-------|---|--|--|------|--|--|
| 主な財源 | 負担金 ・園舎 ・施設 ・諸収入 ・市費 | 保育料現年度分、日本が「一振興やがー保護者負担金 子どものための教育 保育料付費負担金、子ども・子育て支援交付金 子どものための教育 保育料付費負担金、子ども・子育て支援交付金 一時預かり事業利用料、保育所経費調整措置料 保育所送迎バス整備事業費（過疎対策費） | 118,816千円 1,928千円 33,215千円 3,489千円 4,300千円 | 主な財源 | 保育料現年度分、日本が「一振興やがー保護者負担金 子どものための教育 保育料付費負担金、子ども・子育て支援交付金 子どものための教育 保育料付費負担金、子ども・子育て支援交付金 一時預かり事業利用料、保育所経費調整措置料 保育所送迎バス整備事業費（過疎対策費） | 118,816千円 1,928千円 33,215千円 3,489千円 4,300千円 |
| 成果・課題 | 保育所運営を実施するために、施設管理、職員確保、児童・職員の健康管理などの業務を実施することで、円滑な保育所運営を行なうことができた。 | | | | | |

| | | | | | |
|---|--|---|--|--|---|
| 予算科目 | 10教育費 | 04幼稚園費 | 01幼稚園費 | C2幼稚園管理運営事業 | O2幼稚園管理運営事業 |
| 細事業名 | O2 幼稚園スクールバス・サークル等設置事業 | | | | |
| 総合計画 | 計画項目 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | | |
| 決算額 | ① 最終予算額 | ② 不用額 | (②-①) | 執行率 | (参考) 当初予算額 |
| 36,545千円 | 36,706千円 | 161千円 | 99.5 % | 37,041千円 | |
| 目的 | ○ 幼稚園に介護職員及び預かり保育職員を配置することで、適正かつ円滑な幼稚園運営を行う。 | ○ 適正な幼稚園運営や教育環境の充実に取り組み、就学時前教育の充実を図る。 | | | |
| 主要な事務・事業の概要 | ○ 幼稚園に必要な維持管理を行へ、必要経費を支出した。預かり保育事業の実施により、保護者の就労等による幼稚園における子育て支援のニーズに応えることができた。 | | | | |
| ○ 幼稚園の園児数や園児の発育状況に応じ臨時職員を配置するとともに、特別な支援を必要とする園児に対しては、個別に指導計画を作成し、派遣に応じた指導を継続的に実施していくことを目的に職員を配置した。 | | | | | |
| ○ また、保育者の就労等による幼稚園教育に対するニーズに応え、全園で預かり保育事業を行い、14時以降の保育についても適正な人員配置を行った。 | | | | | |
| ○ 臨時職員賃金 | 31,441千円 | (H28年度) (6人) | | | |
| ○ 介護職員 預かり保育職員 介護・預かり保育職員 作業員 | 8人 4人 8人 1人 | (3人) (9人) (1人) | | | |
| ○ 共済費（社会保険料・労災保険料等） | 5,104千円 | | | | |
| ○ 預かり保育の利用実績（実人數） | 74人 | | (62人) | | |
| ○ 幼稚園の園児数や特別な支援を必要とする園児を入れた職員配置を行うことで、幼稚園の円滑な運営を行うことができた。 ○ 預かり保育については、今後も利用者の増加が予想されるため、利用者数の変動に柔軟に対応できる人員配置を行う必要がある。 | | | | | |
| 主な財源 | ○ 使用料 園舗 借入 諸収入 | ○ 幼稚園保育料 子ども・子育て交付金 (1/3) 子ども・子育て交付金 (1/3) 幼稚園預かり保育料 | 8,941千円 1,138千円 1,138千円 4,077千円 | ○ 使 用 料 国補 ○ 幼稚園保育料 幼稚園就園援助助金 (1/3) | 8,941千円 1,138千円 1,138千円 4,077千円 3,589千円 12千円 |
| 成果・課題 | ○ 幼児期の特性を踏まえ、児童の環境に応じた教育を行うことを基本に、人格形成に基づき、今後さらに、市域における就学時前教育の充実を図ることが必要である。 | | | | |
| 所管課 | ○ 教育委員会事務局／子ども未来課 | | | | |

| | | | | | |
|---|--|---|--|--|---|
| 予算科目 | 10教育費 | 04幼稚園費 | 01幼稚園費 | C2幼稚園管理運営事業 | O2幼稚園管理運営事業 |
| 細事業名 | O2 幼稚園スクールバス・サークル等設置事業 | | | | |
| 総合計画 | 計画項目 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | | |
| 決算額 | ① 最終予算額 | ② 不用額 | (②-①) | 執行率 | (参考) 当初予算額 |
| 36,545千円 | 36,706千円 | 161千円 | 99.5 % | 37,041千円 | |
| 目的 | ○ 幼稚園に介護職員及び預かり保育職員を配置することで、適正かつ円滑な幼稚園運営を行う。 | ○ 適正な幼稚園運営や教育環境の充実に取り組み、就学時前教育の充実を図る。 | | | |
| 主要な事務・事業の概要 | ○ 幼稚園に必要な維持管理を行へ、必要経費を支出した。預かり保育事業の実施により、保護者の就労等による幼稚園における子育て支援のニーズに応えることができた。 | | | | |
| ○ 幼稚園の園児数や園児の発育状況に応じ臨時職員を配置するとともに、特別な支援を必要とする園児に対しては、個別に指導計画を作成し、派遣に応じた指導を継続的に実施していくことを目的に職員を配置した。 | | | | | |
| ○ また、保育者の就労等による幼稚園教育に対するニーズに応え、全園で預かり保育事業を行い、14時以降の保育についても適正な人員配置を行った。 | | | | | |
| ○ 臨時職員 | 31,441千円 | (H28年度) (6人) | | | |
| ○ 介護職員 預かり保育職員 介護・預かり保育職員 作業員 | 8人 4人 8人 1人 | (3人) (9人) (1人) | | | |
| ○ 共済費（社会保険料・労災保険料等） | 5,104千円 | | | | |
| ○ 預かり保育の利用実績（実人數） | 74人 | | (62人) | | |
| ○ 幼稚園の園児数や特別な支援を必要とする園児を入れた職員配置を行うことで、幼稚園の円滑な運営を行うことができた。 ○ 預かり保育については、今後も利用者の増加が予想されるため、利用者数の変動に柔軟に対応できる人員配置を行う必要がある。 | | | | | |
| 主な財源 | ○ 使用料 園舗 借入 諸収入 | ○ 幼稚園保育料 子ども・子育て交付金 (1/3) 子ども・子育て交付金 (1/3) 幼稚園預かり保育料 | 8,941千円 1,138千円 1,138千円 4,077千円 | ○ 使 用 料 国補 ○ 幼稚園保育料 幼稚園就園援助助金 (1/3) | 8,941千円 1,138千円 1,138千円 4,077千円 3,589千円 12千円 |
| 成果・課題 | ○ 幼児期の特性を踏まえ、児童の環境に応じた教育を行うことを基本に、人格形成に基づき、今後さらに、市域における就学時前教育の充実を図ることが必要である。 | | | | |
| 所管課 | ○ 教育委員会事務局／子ども未来課 | | | | |

| | | | | | |
|------------------|---|---------------------------------|----------|-------------|------------|
| 予算科目 | 10教育費 | 04幼稚園費 | 01幼稚園費 | 05幼稚園施設管理事業 | |
| 細事業名 | 01 幼稚園施設管理事業 | | | | P.146 |
| 総合計画 | 計画項目 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | | |
| 決算額 | ① 最終予算額 | ② 不用額 | (②-①) | 執行率 | (参考) 当初予算額 |
| 30,819千円 | 31,029千円 | 210千円 | 99.3% | 34,283千円 | |
| 目的 | 幼稚園施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。 | | | | |
| | 市内6幼稚園について、幼稚園を運営する上で必要な検査、保守管理委託、事務機器のリース、施設修繕等を実施した。 | | | | |
| | また、統廃合により、空き施設などだった旧峰山幼稚園園舎の解体工事を実施した。 | | | | |
| <支出内訳> | | 255千円 | | | |
| ○修繕料 | ・網野幼稚園照明器具取替、大宮幼稚園自家用電気工作物部品取替等 | | | | |
| ○役務費 | ・貯水槽法定検査手数料 ・建物火災保険料 | 310千円 31千円 279千円 | | | |
| ○施設管理等委託料 (10業務) | ・空調設備、消防設備、遊具、貯水槽、自動ドアの点検業務 ・電気設備保守管理、施設警備、害虫駆除 等 | 828千円 | | | |
| ○事務機器等リース料 | ・複写機 4台 印刷機 2台 | 44千円 | | | |
| ○旧峰山幼稚園園舎等解体撤去工事 | ・設計監理委託料 ・工事請負費 | 28,540千円 1,588千円 26,952千円 | | | |
| ○その他工事 | ・網野幼稚園修繕工事 (ほか) | 842千円 | | | |
| 主な財源 | 市債 | 旧幼稚園施設解体事業費 (含併特別費) | 27,000千円 | | |
| 成果 | ○施設の維持管理を行うことで、今後の未利用施設の有効活用に寄与した。 ○旧園舎を解体することで、円滑な幼稚園の運営を行うことができた。 | | | | |
| 主な財源 | | | | | |
| 成果 | ○施設の維持管理を行うことで、円滑な幼稚園の運営を行った。 ○昨年度の2倍を超える利用実績があつたものの、利用実人数は昨年度と概ね同じであり、利用者を増やすことが課題である。 | | | | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／子ども未来課 | | | | |
| 総合計画 | 計画項目 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | | |
| 決算額 | ① 最終予算額 | ② 不用額 | (②-①) | 執行率 | (参考) 当初予算額 |
| 65千円 | 67千円 | 2千円 | 97.0 % | 67千円 | |
| 目的 | 子どもの預かり等の援助を受けた方、援助を行つ方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月までの子どもを持つ家庭の子育て支援を図る。 | | | | |
| | 新規および登録済みのまかせて会員を対象に、援助活動に必要な専門的な知識の取得やスキルアップを目的とした講習会を実施した。また、会員の交流を深めたための会員交流会を実施した。 | | | | |
| ○実施事業内容 | ・新規登録会員講習会及び登録更新講習会 ・救命講習会 | | | | |
| | ○会員数 (30年3月末) ・おながい会員 58人 ・まかせて会員 21人 ・両方会員 1人 | | | | |
| | ※活動延件数 57件 ※利用苦寒人数 依頼 (おながい) 会員: 9人 援助 (まかせて) 会員: 7人 | | | | |
| ○事業費 | ・旅費 (普通旅費) ・役務費 (補償保険料) ・使用料及び賃借料 | 2 千円 56 千円 7 千円 | | | |
| 主な財源 | 国補 ・子ども・子育て支援交付金 (1/3) ・子ども・子育て支援交付金 (1/3) | 21千円 21千円 | | | |
| 成果 | ○援助会員の講習会で、受講者に子どもの世話や看病の仕方を再確認する機会を提供し、援助技能の向上を図った。 ○昨年度の2倍を超える利用実績があつたものの、利用実人数は昨年度と概ね同じである。 | | | | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／子ども未来課 | | | | |

| | | | | | |
|------------------|--|---------------------------------|----------|-------------|------------|
| 予算科目 | 10教育費 | 04幼稚園費 | 01幼稚園費 | 05幼稚園施設管理事業 | |
| 細事業名 | 01 幼稚園施設管理事業 | | | | P.146 |
| 総合計画 | 計画項目 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | | |
| 決算額 | ① 最終予算額 | ② 不用額 | (②-①) | 執行率 | (参考) 当初予算額 |
| 30,819千円 | 31,029千円 | 210千円 | 99.3% | 34,283千円 | |
| 目的 | 幼稚園施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。 | | | | |
| | 市内6幼稚園について、幼稚園を運営する上で必要な検査、保守管理委託、事務機器のリース、施設修繕等を実施した。 | | | | |
| | また、統廃合により、空き施設などだった旧峰山幼稚園園舎の解体工事を実施した。 | | | | |
| <支出内訳> | | 255千円 | | | |
| ○修繕料 | ・網野幼稚園照明器具取替、大宮幼稚園自家用電気工作物部品取替等 | | | | |
| ○役務費 | ・貯水槽法定検査手数料 ・建物火災保険料 | 310千円 31千円 279千円 | | | |
| ○施設管理等委託料 (10業務) | ・空調設備、消防設備、遊具、貯水槽、自動ドアの点検業務 ・電気設備保守管理、施設警備、害虫駆除 等 | 828千円 | | | |
| ○事務機器等リース料 | ・複写機 4台 印刷機 2台 | 44千円 | | | |
| ○旧峰山幼稚園園舎等解体撤去工事 | ・設計監理委託料 ・工事請負費 | 28,540千円 1,588千円 26,952千円 | | | |
| ○その他工事 | ・網野幼稚園修繕工事 (ほか) | 842千円 | | | |
| 主な財源 | 市債 | 旧幼稚園施設解体事業費 (含併特別費) | 27,000千円 | | |
| 成果 | ○施設の維持管理を行うことで、今後の未利用施設の有効活用に寄与した。 ○旧園舎を解体することで、円滑な幼稚園の運営を行うことができた。 | | | | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／子ども未来課 | | | | |

| | | | | |
|------------------|--|-----------------|-----------|--------------------------|
| 予算科目 | 03民生費 | 02児童福祉費 | 01児童福祉総務費 | C6子ども未来まちづくり審議会事業 |
| 細事業名 | 01 子ども未来まちづくり審議会事業 | | | |
| 総合計画 | 計画項目 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | |
| 決算額 | ① 最終予算額 | ② 不用額 | ③(①-②) | 執行率 (参考)当初予算額 P.96 |
| | 66千円 | 184千円 | 118千円 | 35.8 % 184千円 |
| 目的 | すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画、保育所再編等推進計画等、特定教育・保育施設の利用定員の設定を審議する。 | | | |
| 主要な事務・事業の概要 | 平成27年度に策定した子ども子育て支援事業計画及び京丹後市保育所再編等推進計画の進捗状況を確認し、子育て施策等に係る意見を聴取するため審議会を開催した。 ○報酬（審議会委員） 委員：10人 2回開催 ○旅費（費用弁償） ○審議会開催状況 | 56千円 10千円 | | |
| 日程等 | 審議内容 | | | |
| 第1回会議 (7月20日) | ・第2次京丹後市保育所再編等推進計画の進捗状況について | | | |
| 第2回会議 (1月16日) | ・京丹後市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について ・子ども未来まちづくり審議会について ・子育て支援事業計画について ・放課後子ども総合プラザについて ・平成29年度主要事業について | | | |
| 主な財源 | | | | |
| 成果・課題 | ○子ども・子育て支援事業計画や保育所再編等推進計画に基づき、事業の進捗状況や今後の子育て支援における課題等について議論することができた。 ○子ども・子育て支援事業計画の進捗管理のほか、多様化する子育て支援ニーズへの対応のため、子どもや子育てに関わる事項の調査や実態を把握する必要がある。 | | | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／子ども未来課 | | | |